

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価
作成日 H 24 年 2 月 13 日作成

事務事業名	市商工会運営支援事業	□ 実施計画事業	所属部局	農林商工部	単位番号	6159	
			所属課室	観光商工課	課長名	塚原浩二	
基本政策	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	商工担当	担当者名	今沢静子	
				会計	名称	款	項
政策	08 商工業の振興		事業区分	01 一般	0 7 0 1 0 2 0 2 0 0 6	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業
				事業区分	□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業	
施策	14 商業の振興			□ 市の制度による義務的事業	□ その他の事業		
				□ 義務化されている協議会等の負担金			
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	南アルプス市経営指導員等設置費補助金交付要綱			
事業の内容 事務事業の概要	事業の内容 事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市商工会に対する人件費の補助を行い、市内の商工業の振興を支援する。 県要綱に基づき実施する補助対象職員の設置費に対して交付することとし、補助金交付の基準は、県要綱の算定基準の額のうち15%以内の額とする。	事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 補助金 7,000 計 7,000					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績 市商工会経営指導員が市内の小規模事業者等への経営指導、活動支援を行う
23年度活動予定	市商工会経営指導員が市内の小規模事業者等への経営指導、活動支援を行う
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市商工業者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	商工会員の経営指導を行うことによって、経営安定を図る
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市内の商工業の経営安定より、地元雇用が拡大する

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:商工会員数	数	
イ:		
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:商工会員数	数	
イ:		
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:黒字であった商工業者の割合	%	
イ:		
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:売り上げがアップした商工会員数	%	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費内訳	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
		一般財源 千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
		事業費計 (A) 千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	300	500	500	500	500	500	
	人件費計 (B) 千円	1,338	2,231	1,981	1,981	1,981	1,981	1,981	0
	(A)+(B) 千円	8,338	9,231	8,981	8,981	8,981	8,981	8,981	0
活動指標		ア: 数	1,959.0	1,950.0	1,907.0				
対象指標		ア: 数	1,959.0	1,950.0	1,907.0				
成果指標		ア: %							
上位成果指標		ア: %							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化 市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年南アルプス市経営指導員等設置費補助金交付要綱による。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	市内の高齢化や後継者不足などの個人的な要因による商店街の衰退が進んでいる。今後についても商工会の経営指導員の知識や巡回指導などの事業強化に期待する。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	商工会人件費の財源確保として期待されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】 <input type="checkbox"/>
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	人件費の補助については、内容を十分確認し、補助対象について指導してきた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	補助対象について、要綱の改正を行った。

事務事業名	市商工会運営支援事業	所属部	農林商工部	所属課	觀光商工課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない（見直し余地がある） ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 商工会の職員の人事費は、商工会員の育成となる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 商工会の職員の人事費は、商工会員の育成に資するため
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 商工会の職員の人事費は、経営指導員等の資格もつ職員を設置するための補助であり、経営指導員を配置し、市内の商工業者の経営指導事業を強化することは、商工業の活性化につながるため
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 経営指導員設置等設置費補助金交付要綱に準じた補助金業務であり向上余地はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒（類似する事務事業の名称を記入↓） <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 商工会の経営指導員が行う事業は、商工業者経営安定を図り、市の商工業の活性化になる
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費（コスト）を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金交付要綱の範囲内であれば削減できる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？（事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金交付要綱に準じての業務であり削減余地なし。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 商工会員の経営安定のための補助であり公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	市の商工業振興の中核をなす商工会の運営支援は必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・複数選択可			(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)	<input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果 水 準</th> <th>向 上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維 持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト水準					削減	維持	増加	成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低 下	<input type="checkbox"/>		
		コスト水準																								
		削減		維持	増加																					
成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>																								
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																								
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																									
(2) 改革改善案について																										
①																										
②																										
③																										
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策			(5) 事務事業優先度評価結果																							
①			成果優先度評価結果		(11)																					
②																										
③																										
			コスト削減優先度評価結果		(6)																					